



ニッセイ／TCW債券戦略ファンド
(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)／(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)
愛称：ボンドセレクト

第1期決算とTCWの債券運用について

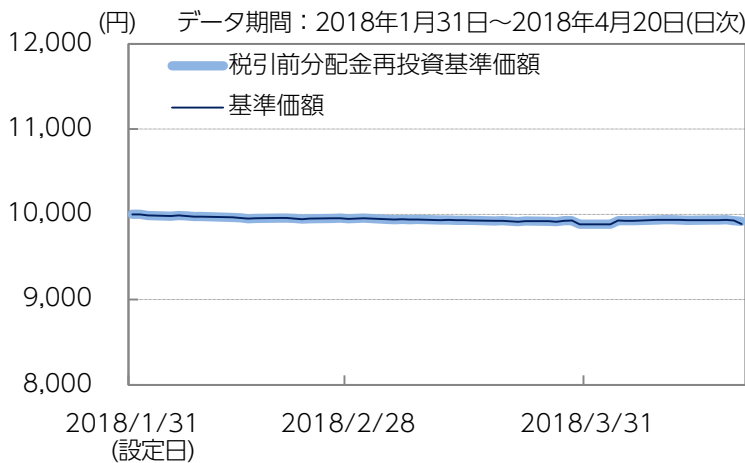
第1期決算と運用状況について (2018年4月20日現在)

当ファンドは2018年4月20日に第1期決算を迎えましたが、収益分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して、「為替ヘッジあり」は分配金を30円(1万口当り、税引前)、「為替ヘッジなし」は分配金を45円(1万口当り、税引前)といたしましたのでお知らせ申し上げます。

今後も、世界各国の債券等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行ってまいりますので、引き続きご愛顧たまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

<3ヵ月決算型・為替ヘッジあり>

【基準価額の推移】

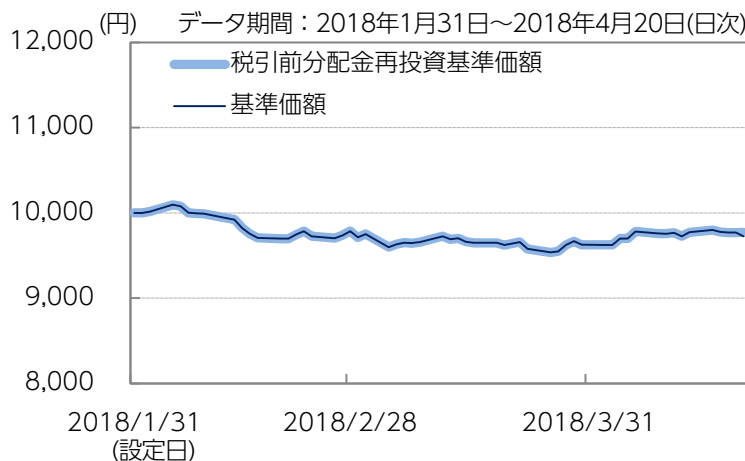


【分配金の推移(1万口当り、税引前)】

| 決算 | | 分配金 | 基準価額 |
|---------|----------|-----|--------|
| 第1期 | 2018年4月 | 30円 | 9,888円 |
| 第2期 | 2018年7月 | - | - |
| 第3期 | 2018年10月 | - | - |
| 直近1年間累計 | | 30円 | |
| 設定来累計額 | | 30円 | |

<3ヵ月決算型・為替ヘッジなし>

【基準価額の推移】



【分配金の推移(1万口当り、税引前)】

| 決算 | | 分配金 | 基準価額 |
|---------|----------|-----|--------|
| 第1期 | 2018年4月 | 45円 | 9,727円 |
| 第2期 | 2018年7月 | - | - |
| 第3期 | 2018年10月 | - | - |
| 直近1年間累計 | | 45円 | |
| 設定来累計額 | | 45円 | |

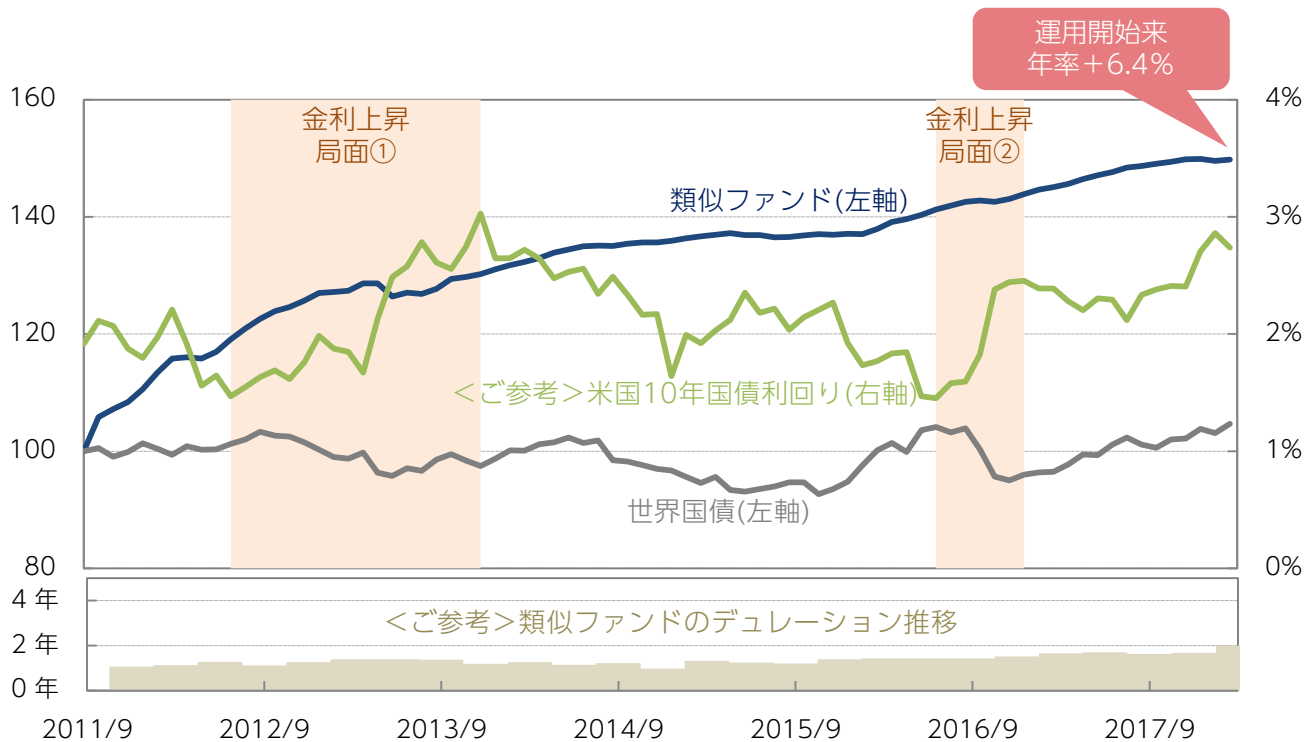
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税引前分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。分配金は信託財産から支払いますので、基準価額が下がる要因となります。収益分配金には普通分配金に対して所得税および地方税がかかります(個人受益者の場合)。

TCWの債券運用～類似ファンドの良好なパフォーマンス

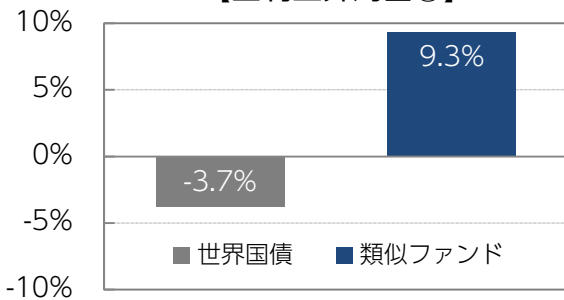
当ファンドの債券等の運用は、債券運用で定評のある米国のTCWインベストメント・マネジメント・カンパニーが行います。

TCWが運用する類似ファンドは、運用開始以降の6年半で米ドルベースで年率+6.4%の収益を獲得しています。その間、米国10年国債利回りが月次ベースで1%以上上昇した局面が2回ありましたが、米ドルベースのリターンは世界国債がマイナスとなる一方、類似ファンドは2回ともプラスを確保しました。類似ファンドが金利上昇局面においてもプラスのリターンを獲得できたのは、デュレーション(金利感応度)を1年から2年程度と抑えるなかで、機動的なポートフォリオ調整がプラスに寄与したためと考えられます。

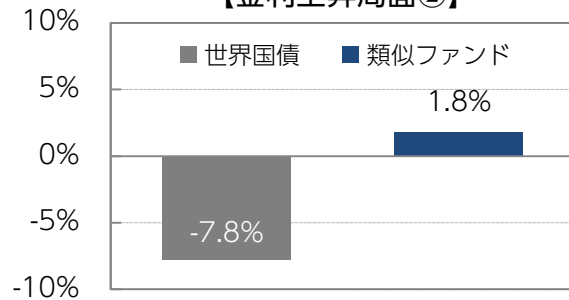
<類似ファンド等のパフォーマンス(米ドルベース)>



【金利上昇局面①】



【金利上昇局面②】



出所)TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 データ期間：2011年9月末～2018年3月末(月次)、類似ファンドのデュレーション推移は2011年12月末～2018年3月末(四半期毎)
 世界国債：FTSE世界国債インデックス
 類似ファンドと世界国債のパフォーマンス推移は2011年9月末を100として指数化
 金利上昇局面：米国10年国債利回りが月次ベースで1%以上上昇した期間
 金利上昇局面①：2012年7月末～2013年12月末、金利上昇局面②：2016年7月末～2017年1月末

上記の類似ファンドの運用実績は、当ファンドが投資対象とする外国投資信託と同様の運用戦略を採用するTCWインベストメント・マネジメント・カンパニーのファンドのコンポジット(2011年10月1日運用開始)の過去の運用実績(米ドルベース、信託報酬等コスト控除前)を示しており、当ファンドの運用実績ではありません。また、類似ファンドの運用状況は、当ファンドが投資対象とする外国投資信託と同様の運用戦略を採用する同社の代表ファンドの運用状況を示しており、当ファンドの運用状況ではありません。あくまでご参考としてお考えください。コンポジットとは、類似の投資戦略ないし投資方針に基づいて運用される1つ以上のポートフォリオの運用実績を、一定の基準に従って集計したものであり、投資戦略毎の運用実績を表すために用いられます。

ファンドの特色

- ①世界各国の多種多様な債券等に投資します。
- ②債券等の運用は、TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーが行います。
- ③「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドから選択いただけます。
- ④年4回決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。
 ※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
 ※将来の分配金の支払いおよび水準について、保証するものではありません。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

| | | |
|-------------|---|--|
| 債券投資 リスク | 金利変動 リスク | 金利は、景気や経済の状況等の影響を受け変動し、それにともない債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には、債券の価格が下落します。なお、転換社債は、債券と株式の双方の特性を有しており、前記に加え株式の価格変動の影響も受けます。 |
| | 信用 リスク | 債券の発行体が財政難・経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる場合(債務不履行)、またはそれが予想される場合、債券の価格が下落することがあります。 |
| | 期限前償還 リスク | モーゲージ証券や資産担保証券は、様々な要因によるローンの借換え等にともない、期限前償還されることがあり、これらの増減により価格が変動します。特に金利が低下した場合、期限前償還の可能性の高まりにより、モーゲージ証券や資産担保証券の種類によっては価格の上昇が抑えられること、または下落することがあります。 |
| 為替変動リスク | <p>〈為替ヘッジあり〉</p> <p>投資対象とする外国投資信託証券においては、原則として同証券の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の「米ドル売り/円買い」の為替取引を行い、円に対する米ドルの為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、円の金利が米ドルの金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。</p> <p>実質的な組入通貨のうち、米ドル以外の通貨については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受け、一般に当該通貨が米ドルに対して下落した場合には、ファンドの資産価値が減少する要因となります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。</p> | |
| カントリーリスク | 外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。 | |
| 流動性リスク | 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。 | |

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

ファンドで分配金が支払われるイメージ

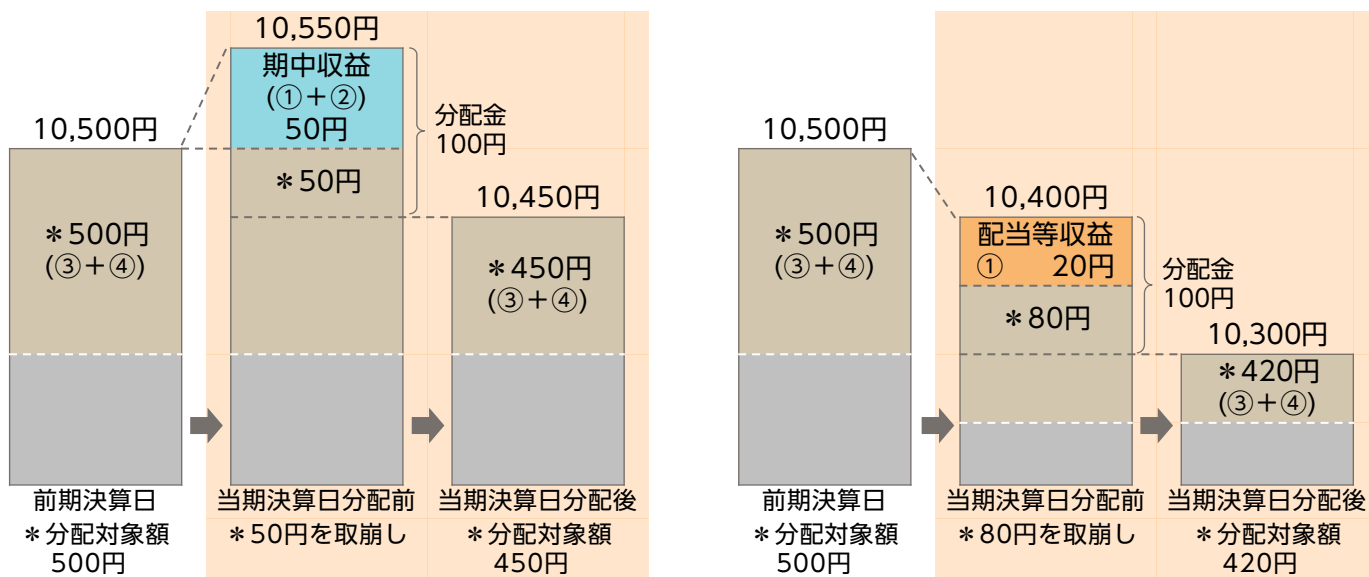


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合

前期決算日から基準価額が下落した場合



- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。

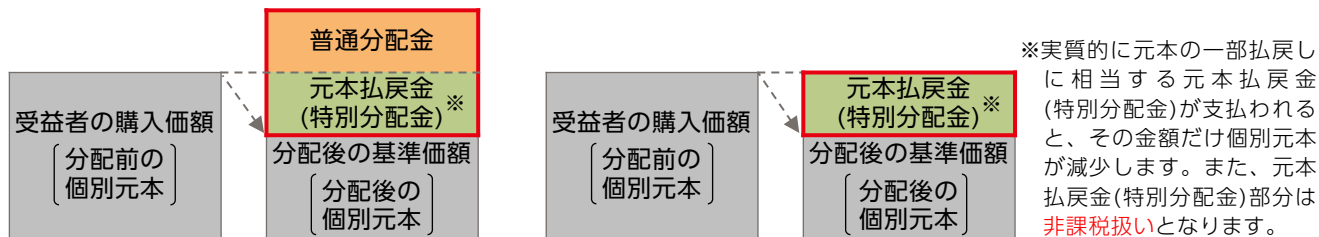
収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手続・手数料等

お申込みメモ

| | |
|--------|---|
| 購入単位 | 販売会社が定める単位とします。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金価額 | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 換金代金 | 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 |
| 申込締切時間 | 原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。 |
| 申込不可日 | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ルクセンブルグの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチングの申込みの受け付けを行いません。 |
| 信託期間 | 2028年1月20日まで (設定日：2018年1月31日) |
| 繰上償還 | 委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。 |
| 決算日 | 1・4・7・10月の各20日 (該当日が休業日の場合は翌営業日) |
| 収益分配 | 年4回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。 |
| 課税関係 | 課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 |
| スイッチング | 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金および販売会社が定める購入時手数料・税金がかかります。 ※販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 |

❗ ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | | |
|---------------------|-------------------|--|--|
| 購入時 | 購入時手数料 (1万口当り) | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.24%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ※ 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。 | |
| 換金時 | 信託財産留保額 | ありません。 | |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | | |
| 毎日 | 運用管理費用 (信託報酬) | 投資対象とする 外国投資信託証券 | 年率0.5%程度 |
| | | 実質的な負担 | ファンドの純資産総額に 年率1.4936%(税込)程度 をかけた額となります。 |
| | 監査費用 | ファンドの純資産総額に年率0.0108%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 | |
| 随時 | その他の費用・ 手数料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。 | |

❗ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。

❗ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

| 取扱販売会社名 | 登録金融機関 | | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 日本投資顧問業協会 | 一般社団法人 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 |
|--------------|----------|--------|---------------|---------|---------------------|---------------------|------------------------|
| | 金融商品取引業者 | 登録金融機関 | | | | | |
| エース証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長(金商)第6号 | ○ | | | |
| 株式会社しん証券さかもと | ○ | | 北陸財務局長(金商)第5号 | ○ | | | |

| | |
|---|---|
| 委託会社【ファンドの運用の指図を行います】 | ファンドに関するお問合せ先 |
| ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： https://www.nam.co.jp/ |
| 受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】 | |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | |